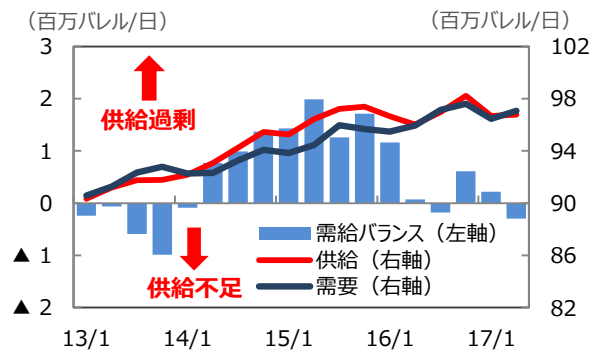


今日のトピック 原油価格の動向（2017年7月） 需要と供給の綱引きで、原油価格はレンジ内での推移へ

ポイント1 原油需給はほぼ均衡 OPEC協調減産で供給が鈍化

- 国際エネルギー機関（IEA）によれば、2017年1～3月期の原油需要は世界全体で前年同期比1.0%増の日量9,645万バレル、続く4～6月期は同1.2%増の9,707万バレルと増加の勢いを強めつつあります。
- 一方、生産量は17年1～3月期が前年同期比ほぼ横這いの同9,667万バレル、4～6月期が同0.8%増の9,677万バレルでした。OPECによる減産合意の遵守が効を奏して供給の伸びが鈍化、世界の原油需給は均衡しつつあります。

【世界の原油需給バランス】



(注) データは2013年1-3月期～2017年4-6月期。
需給バランス=供給-需要。
(出所) 国際エネルギー機関(IEA)のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 17年は需要超過の見通し 世界経済の拡大で需要が増大

- IEAは、①17年の原油需要を世界全体で日量9,800万バレル、前年比同140万バレルの増加、②非OPEC諸国による供給量を同70万バレル増の同5,810万バレル程度と予測しています。
- 従って、OPECの協調減産が維持されれば、需給バランスは14年～16年の供給超過から17年に需要超過へと転換する見通しです。

【OPEC加盟国の原油生産枠と生産実績】

国名	生産枠	生産（2017年）	
		1-3月	4-6月
サウジアラビア	1,006	990	998
イラク	435	445	448
イラン	380	378	377
UAE	287	294	293
クウェート	271	271	272
ベネズエラ	197	204	201
アンゴラ	167	164	165
アルジェリア	104	105	106
カタール	62	60	62
エクアドル	52	52	53
ガボン	19	20	20
リビア	-	66	70
ナイジェリア	-	139	150
OPEC総計	3,250	3,202	3,227

(注1) 単位は万バレル/日量。リビアとナイジェリアは生産枠の設定を免除されている。
(注2) 四捨五入の関係で各国生産量および生産枠の合計はOPEC総計と必ずしも一致しない。
(出所) IEA統計を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 原油価格はレンジ内での推移へ

- 産油国の協調減産が維持される限り、原油価格が大きく下落する可能性は低いと考えられます。一方で、価格が上昇すれば、シェールオイルなどの生産が増加し、供給も拡大する傾向があります。
- 原油価格は需要と供給の綱引きのなか、当面のところ1バレル当たり40～50ドル程度のレンジで推移する見通しです。

ここもチェック! 2017年6月15日 「協調減産」で価格維持を図るOPEC 2017年6月14日 「シェールオイル」は消費者の味方か？

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。